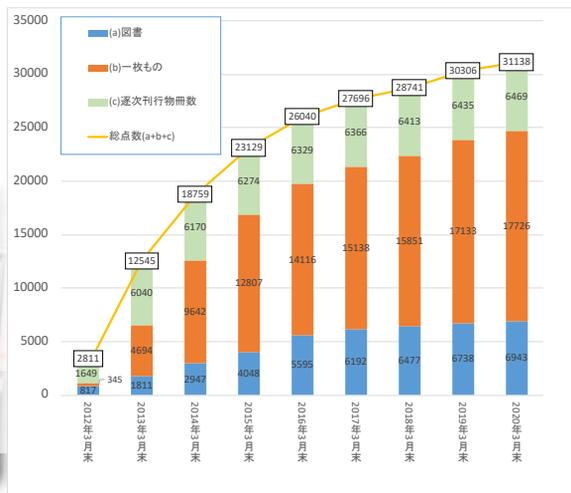


ICTによる震災学習のための基盤づくり

岩手県立図書館 × 岩手県立大学 協働研究

▼「震災関連資料コーナー」について

- ・被災県の図書館として資料の収集を自主的に開始
- ・図書館共同キャンペーン「震災記録を図書館に」の呼びかけ館でもある。
- ・同館の震災関連資料コーナーは東日本大震災発災年(2011年)の10月に仮公開、翌2012年4月より本公開。
- ・同コーナーの所蔵数は、開設年度の末には2,811点であったが、2020年3月末の時点で31,138点を数えるまでになっており、現在も増え続けている(右グラフ参照)。
- ・2014年1月に国立国会図書館「ひなぎく」とシステム連携
- ・他の類似の取り組みと同様、資料の利用促進については対策が必要であることが認識されている。



資料登録点数の推移

▼「震災関連資料」の課題

利用者が、検索して見つけたり、内容を読み解いたり、関連を見いだすことが困難。1枚ものの資料(ちらし等)については特に難しい。

▼ 新しいアイデアの試行！ ICTを用いた解決案の検討

震災学習による調べ学習の成果(まとめた資料や現地調査時に取得した写真等)をシステムに一時記録(アーカイブ)する。震災学習の様子を公開することで、資料の利用を活性化を目指す！

▼ プロジェクトポータルサイト

パソコン・スマートフォンに対応しています

2020年5月より公開！

「岩手 reedy」で検索！

震災関連資料の検索とその支援機能、震災学習の成果や現地取材写真、パスファインダーが公開されています。震災学習の総合支援サイトを目指して、現在、機能追加に取り組んでいます。

▼調べ学習のステップ (2017年10月～翌2月「震災を通して学ぼう」より)

岩手県山田町での現地調査を含む全4回で構成された震災学習の様子を紹介します。公募に応じた市民(5名)と学生(4名)が参加しました(2回目と3回目は任意参加)。1・3回は県立図書館の調査研究室で、4回は県立大学アイーナキャンパスで行いました。

1回目「ガイダンスとテーマ探し」

2回目「現地に足を運んでみよう！」



4回目「学んだことを共有しよう！」



3回目「学んだことを整理しよう！」

学習成果や記録の一部はポータルサイトに蓄積。次の震災学習の参考にも。



震災学習と連携したシステム運用を通して、6件の新資料に64件の資料が関連付けられ、システムに登録されました。



アンケートの自由記述欄から参加者の主な意見を抜粋

「学習機会が得られてよかった」、「システムに写真データがアーカイブされることで現地の様子を思い出す」、「事後学習に有用」、「他の人の写真が見られてよい」といった**肯定的な声**がほとんどで、次回開催を望む声も。特に被災経験を持った参加者や、復興支援に関わっている参加者からあった。資料の利活用を促すと共に、参加者にとって、**震災の記憶の風化を防ぐための学習装置として機能していたと考えられます。**

▼これまでの経緯・主な取り組み

岩手県立大学と岩手県立図書館は、2013年以来、「震災関連資料」のICTによる利用活性を目指した協働研究を開始しました。2020年5月には、その成果の一部をポータルサイトで公開しています。

2013年11月 協働研究開始

2014年 7月 「公立大学法人岩手県立大学地域政策研究センター地域協働研究(地域提案型・前期)」に係る協定を締結して研究を継続。

○ワークショップの試行(2015/3-2018/7) 基本システムの検証

2015年 7月 「公立大学法人岩手県立大学地域政策研究センター地域協働研究(地域提案型・前期)」に係る協定を再締結

○震災学習の試行(2015/11-2016/2) 十宮古市での現地調査

2016年 4月 文部科学省「科学研究費補助金」を取得(～2019年3月まで)

○マッピングシステムの検証(2016/12) 十釜石市での現地調査

○「震災を通して学ぼう」の開催(2017/10-2018/2) 十山田町での現地調査

○震災学習参加(宮古市)(2018/8)

○パスファインダー公開支援システムの検証(2019/12)

2019年 4月 文部科学省「科学研究費補助金」を取得(～2022年3月まで)

○プロジェクトポータルサイトの公開(2020/5)

○パスファインダー作成支援システムの検証(2019/12)

○震災関連資料職員に対する聞き取り調査(2020/9-10)

○震災ガイド参加(大船渡・陸前高田)・東日本大震災津波伝承館見学(2020/11)

○ポータルサイト向け検索システム・動画公開システムの検証(2020/12)



▼登録メンバー募集！先ずはお気楽に登録・お問い合わせ下さい。

震災学習のための「テーマの発掘」と、そのテーマに基づいて実際に「震災関連資料コーナー」を使った「調べ学習」を行うメンバーを募集します。東日本大震災について関心のある方ならどなたでも登録できます。グループや親子での登録・参加も可能です。ポータルサイトの「利用者アンケート」からの登録、または、tomizawa@iwate-pu.ac.jp (岩手県立大学・富澤)までご連絡下さい。